

令和4年度

宇治市社会福祉協議会（コラボネット宇治）

事業計画

～支え合い、助け合い、励ましあって、つながる福祉～

社会福祉法人 宇治市社会福祉協議会
（コラボネット宇治）

目 次

令和3年度の事業のふりかえりと令和4年度の事業方針	2
第1章	
第4次地域福祉活動計画の策定及び宇治市地域福祉計画策定への参画	5
第2章	
「人への共感」「地域への関心」を基盤とした、地域福祉活動・ボランティア活動の推進	5
第3章	
各種相談からの生活課題、地域福祉課題の把握と解決	8
第4章	
法人運営及び財務運営の強化	9

令和3年度の事業のふりかえりと令和4年度の事業方針

1. 令和3年度の事業のふりかえり

令和3年度は、

- (1) 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定及び宇治市地域福祉計画策定への参画
- (2) 多様性を生かした地域づくりへの働きかけ
- (3) 各種相談から、生活課題、地域福祉課題の把握と解決を図ります
- (4) 法人運営及び財務運営の強化に努めます

という4項目を重点項目として、取り組んできました。

令和3年度においても、令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける形になりました。特に、年度当初と夏には3回目、4回目の緊急事態宣言と重なり、多くの地域活動拠点が使用できなくなり、活動ができない状況が続きました。加えて、年明け以降続く「第六波」といわれる新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、当会の事業の継続性などにおいても深刻な影響を与えています。

(1)において、宇治市地域福祉活動計画策定委員会では、コロナ禍で思うように会合はできませんでしたが、しかし、コロナ禍で感じたことや考えたことを共有する機会とし、そこからどのような地域福祉活動の推進ができるかを作っていくこととしています。

(2)においては、オンラインを併用した会議開催や、地域では手紙のやり取りを行うなど、「つながりを絶やさない」努力が続けられてきました。昨年度は開催できなかった研修会等も、オンライン等を併用して実施するなど、コロナ禍においてもできうることを行ってきました。また、DV支援を行う団体からの聞き取り等を通じて得られた内容から、宇治市共同募金委員会へ助成の働きかけを行いました。

(3)においては、令和2年3月25日から引き続き実施している新型コロナウイルス感染症拡大を受けての経済支援としての、緊急小口資金特例貸付、総合支援資金特例貸付を展開してきました。令和3年度は特に夏以降ひとり親家庭などの相談が多くなっていたり、生活状況が貸付だけでは厳しい世帯が増えています。また、福祉サービス利用援助事業では、世帯で支援が必要なケースや、ヤングケアラーの支援としての事業利用などもあり、制度開始当初と異なった世帯支援の必要性が浮き彫りになっています。これらの事業からは、地域福祉課題として生活面で相談する相手がない孤立化が、あらゆる世代の中にあることを示しています。

(4)においては、引き続き役職員研修等を実施し、資質向上に努めました。また、令和3年度もコロナ禍で会員募集の依頼がむずかしく、また、緊急事態宣言に伴う外出自粛や公共施設の閉館に伴い収益事業である自動販売機の収入も減少となっています。遺贈を含めた新たな財源づくりと、支出抑制を行う必要があります。

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、地域福祉活動を進めていくことが求められてきます。また、新型コロナウイルス感染症を通じて明らかになった、「対面」の良さ、見守りや気にかける地域を目指す地域づくりの大切さ、孤立化する世帯や人への支援のあり方などを具体化していくことが求められています。

2. 令和4年度における重点取組み

以上のふりかえりをもとに、令和4年度も下記の点に重点を置き、継続して取り組みます。

(1) 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定

新型コロナウイルス感染症により、地域福祉の基盤である、「対面での人と人との関係づくり」に制限を受ける中、これまで地域福祉活動が果たしてきた役割と重要性が再認識されています。ウイズコロナ、ポストコロナの中での地域福祉を見据え、改めて小地域ごとの状況や地域の取組みの把握を行い、多様な人が参画でき、支え合う力のある地道な地域基盤づくりを目指した、地域福祉活動計画の策定を進めます。

(2) 「人への共感」「地域への関心」を基盤とした、地域福祉活動・ボランティア活動の推進

様々な生活不安や寂しさを抱えている人を見守り、孤立させない地域づくりを進めるためには、常に地域住民の関心事や不安を抱えている当事者の思いを共有して、地域の中での「共感」を高め、多様な住民が参画できる場づくりが必要です。当会として、様々な活動の場面に、共感の場づくりが展開されるよう意識して、各種の地域福祉、ボランティア活動への支援に取り組みます。

(3) 各種相談からの生活課題と地域福祉課題の把握と解決

コロナ禍で、より浮き彫りとなってきた生活困窮等から連なる様々な個別課題への対応など、これまでよりも、さらに柔軟な地域福祉活動の視点と取組みが必要となっています。

寄せられる相談に対して、来談者が抱えている生活不安を社会ニーズとして明らかにするとともに、来談者自らの意志や決断を発揮できるよう寄り添い、制度や他の相談窓口につなげます。また、その不安解消に適した地域福祉活動やボランティア活動等への取組みにつなげます。

(4) 法人運営及び財務運営の強化

地域福祉を展開していくために必要な財源基盤の強化として、会員募集運動の強化や自動販売機の設置拡充を図るとともに、遺贈、寄付の積極的な受入れや助成金の活用など、新たな財源確保に取り組みます。

【アイコン表示について】各活動の財源が分かるアイコンを表示しています。

**宇治
社協**

会費収入等の独自財源、基金の運用益を元にして実施する事業に表示。

**赤い
羽根**

赤い羽根共同募金の配分金で実施する事業に表示。

**歳末
募金**

歳末たすけあい募金の配分金で実施する事業に表示。

**利用
負担**

参加者や利用者からの負担金により実施する事業に表示。

**補助
委託**

宇治市や京都府社協からの委託金や補助金、助成金により実施する事業に表示。

第1章 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、日常生活や地域福祉を取り巻く環境が混沌としている中で、従来の活動意義の再認識や新たな視点、方法を取り入れながら、多様な市民の参画を基盤とした地域福祉の推進のために、引き続き、第4次宇治市地域福祉活動計画の策定に取り組めます。

(目標と実施する取組み)

1. 第4次宇治市地域福祉活動計画の策定及び宇治市地域福祉計画策定への参画

宇治
社協

目 標／第4次宇治市地域福祉活動計画の策定を進めます。

取組み／小地域ごとの状況や地域福祉活動の把握を行いながら、ウィズコロナ、ポストコロナの中での地域福祉を見据え、多様な市民が参画し、支え合う力を高めていくための活動計画の策定

第2章 「人への共感」「地域への関心」を基盤とした、地域福祉活動・ボランティア活動の推進

様々な生活不安や寂しさを抱えている人を見守り、孤立させない地域づくりを進めるためには、従来の支える側、支えられる側という地域福祉活動の形にとらわれず、常に地域住民の関心事や不安を抱えている当事者の思いを共有しながら、地域の中での「共感」を高め、多様な住民が参画できる場づくりが必要です。当会として、その共感の場づくりを意識しながら、各種の地域福祉、ボランティア活動への支援に取り組めます。

(目標と実施する取組み)

1. 学区福祉委員会等住民主体による活動への支援

宇治 補助 赤い 歳末
社協 委託 羽根 募金

目 標／学区福祉委員会等の住民主体による小地域福祉活動への助言や協働を通じて、それぞれの地域に即した地域福祉の拡充を進めます。

取組み／住民向け講座や研修会の協働を通じた学区福祉委員会等の活動団体への支援
木幡学区での、住民交流拠点の継続開催(～コラボプラザ～「ふらっとこはた」の取組み支援)

2. 多様な住民の語り合いの場づくり 宇治 補助
社協 委託
- 目 標／身近な関心事や不安を抱えている当事者の思いを共有できる場づくりを通じて、多様な住民の参加、参画を進めます。
- 取組み／小学校区を基盤に、多様な住民が思いを持ち寄り、学び合い、共に取組みを進めていける場づくり
3. Hot!ふれあいサロン活動への支援 補助 歳末
委託 募金
- 目 標／Hot!ふれあいサロン(以下「サロン」)活動を通じた、身近な人と人とのつながりを絶やさない取組みを支援します。
- 取組み／市内のサロン活動のネットワークづくりとサロン交流会・研修会の実施
参加希望者のマッチング、サロン活動者への情報提供
新たなサロンの立ち上げ支援
4. 宇治ボランティア活動センターの運営支援によるボランティア活動の拡充 宇治 補助
社協 委託
- 目 標／市民主体によるセンター運営への支援を通じ、ボランティア活動の拡充を図ります。
- 取組み／市民との協働によるボランティア活動センターの運営
広く市民がボランティアに参画できるきっかけづくりやコーディネート
5. 加入団体と連携した宇治市災害ボランティアセンターの運営 補助 赤い
委託 羽根
- 目 標／日常の延長上にある「災害時」を意識し、災害時にも強いまちづくりに寄与します。
- 取組み／総会や訓練、運営委員会において災害時を意識した「日常の関係づくり」の構築
6. 当事者団体の支援を通じての地域生活支援 赤い 補助
羽根 委託
- 目 標／当事者団体による情報発信が、より広く市民に伝わるよう広報します。
多様な住民に当事者の思いを伝えることができる場づくりを支援します。
- 取組み／共同募金委員会や市の助成金等を媒介にした当事者団体の運営相談支援
宇治市介護者家族の会と連携した在宅高齢者介護者リフレッシュ事業の実施
7. 生活支援体制整備事業を通じての対話と協働による地域福祉の推進 補助
委託
- 目 標／地域福祉課題の発掘と解決に向けた学び合いの場を創ります。
- 取組み／宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(第1層)の運営
小地域を基盤とした宇治市地域の支え合い仕組みづくり会議(第2層)の拡充
8. 地域つながり活動支援事業への取組み 補助
委託
- 目 標／ウィズコロナにより、人と人との関わり方が変化する中で、ポストコロナを見据えた、多様な地域課題への取組みを通じて、地域共生社会の実現に努めます。
- 取組み／多様な人の参画を通じた、地域福祉の担い手づくり
ポストコロナを見据えた、地域課題の解決に寄与する事業への助成

補助
委託

9. 住民参加型による介護予防普及啓発事業の展開と地域づくり

目 標／誰もが健康寿命を伸ばし、地域で孤立せず暮らしていけるよう、健康づくりを介しての住民参加の拡充を図ります。

取組み／週 1 回、20 小学校区での一般介護予防事業介護予防普及啓発事業（B タイプリハビリ教室）の実施

健康づくりに関するボランティア研修会の実施

10. 若年層への福祉教育の実施

補助
委託

目 標／京都文教大学の授業を通じて、ボランティア活動への参加のすそ野を広げます。

取組み／ボランティア活動団体や福祉施設との協働による京都文教大学ボランティア演習を通じた、大学生のボランティア活動の受入れ

赤い 補助 歳末 利用
羽根 委託 募金 負担

11. 福祉関係者とともに宇治市の福祉の機運を高めるための宇治福祉のつどいの開催

目 標／福祉活動参加者への敬意を表し、また、地域福祉課題の提起を図ります。

取組み／長年、地域福祉やボランティア活動に貢献されてきた方の表彰

当会70周年を記念して、福祉関係者とともに、地域福祉課題の共有を図る講演会等の実施

12. 福祉専門職や福祉事業に関わる人たち、社会福祉法人等との連携強化

宇治
社協

目 標／社会福祉法人等と地域の課題や法人を取り巻く課題を共有し、解決策を探ります。

取組み／各種法人の課題を共有する対話の場づくりの検討

赤い 歳末 利用
羽根 募金 負担

13. 他機関との連携による子育て世代への働きかけと地域福祉活動へのきっかけづくり

目 標／NPO 法人等と連携し当事者の視点を大切にしたい子育て世代とのつながりづくりと子育てを通じて参画できる地域福祉活動の場づくりを進めます。

取組み／NPO 法人等と連携した子育て支援事業の展開

中学生と赤ちゃんのふれあい交流事業

14. 高齢者の健康と生きがいづくりを通じた老人福祉センターの運営

補助
委託

目 標／高齢者の健康や生きがいづくりのための社会参加の機会を創出します。

取組み／宇治市老人センターサークル協議会（USK）事務局の運営

館外研修、クリーン運動等の実施、サークルの発表の場の提供

15. 障がいのある人の社会参加の支援

補助 利用
委託 負担

目 標／障がい者の社会参加の機会を創出します。

取組み／身体障がい者デイサービス事業の実施

移動支援事業（車いすユーザー対象）の実施

16. 福祉活動拠点の整備を生かした活動支援

宇治 利用
社協 負担

目 標／福祉会館以外の活動拠点整備を通じ、地域福祉・ボランティア活動を推進します。
取組み／理容アズマ跡コミュニティスペースの貸し出しを通じて、当事者支援活動・大学生の居場所・交流の場づくり等、多様性のある活動の拡充

第3章 各種相談からの生活課題、地域福祉課題の把握と解決

来談者自らの意志や決断に寄り添い、制度や専門窓口、当会の強みである地域福祉活動やボランティア活動へのコーディネート力を生かした相談支援を展開します。

1. ボランティア相談の実施

補助 宇治
委託 社協

目 標／ボランティアの相談、調整を通じて、ボランティア活動参加者のすそ野を広げます。
取組み／宇治ボランティア活動センターとの連携によるニーズ把握

2. ふれあい福祉センター相談事業の実施

補助 宇治
委託 社協

目 標／生活課題や地域福祉課題の把握と解決のための寄り添いのある支援を行います。
取組み／福祉なんでも相談の実施
専門相談（社会保険、多重債務・成年後見、登記、法律）の実施

3. 貸付相談の実施

補助
委託

目 標／貸付相談から見える生活課題、地域福祉課題を把握します。
取組み／くらしの資金の貸付、償還相談
生活福祉資金の貸付、償還相談
新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付や償還に係る生活相談対応

4. 福祉サービス利用援助事業の展開と成年後見制度利用促進法による支援策の検討

補助
委託

目 標／日常生活に不安のある方の生活課題や福祉課題への対応と支援を行います。
取組み／福祉サービス利用援助事業の実施
生活支援員の拡充と資質向上
成年後見制度利用促進法に基づく支援の仕組みづくりの検討

5. 生活課題の把握と生活課題に向き合う団体の活動支援

宇治 補助 歳末 赤い
社協 委託 募金 羽根

目 標／団体の運営支援を通じて団体運営の課題、ニーズを把握します。
団体の活動支援を通じて、当事者の生活課題、地域福祉課題を把握します。
「協議会」の意義を発揮したネットワークのあり方を検討します。
取組み／赤い羽根コラボ助成や各種民間助成金を通じた団体との連携、情報共有
NPO や市民活動団体等と連携した生活相談への対応

6. 生活困窮者自立支援事業における学習支援事業の取組み

補助
委託

目 標／中学生の学習習慣の定着を目指した支援を行います。

若年層への地域福祉・ボランティア活動へのきっかけづくりに生かします。

取組み／週2回の学習支援事業の実施

第4章 法人運営及び財務運営の強化

社会福祉法人としての法人運営の強化を図るとともに、当会活動の広報周知に努めます。また、地域福祉を展開していくために必要な財源基盤の強化として、従来からの会員募集や自動販売機の設置拡充を図るとともに、積極的な助成金の活用や遺贈等の働きかけ等、新たな財源確保の方法に取組みます。

1. 時代に即した法人運営の強化

宇治
社協

目 標／時代に即した社会福祉協議会の運営を進めます。

取組み／三役会の実施

理事会の実施

評議員会の実施

定期監査の実施

2. 財源づくりの強化に向けた取組み

宇治
社協

目 標／収支バランスなど、今後の適切な法人運営に向けた財源のあり方を検討します。

取組み／積極的な会員（住民会員、事業所会員、施設会員、団体会員、賛助会員）募集の呼びかけ

1㎡でできる社会貢献事業（収益事業）による飲料用自動販売機設置の拡充

寄附金の受入れと基金の適正運用

遺贈等の積極的な受入れ

3. 多角的な広報の取組み

宇治 赤い 歳末
社協 羽根 募金

目 標／地域福祉活動や生活課題、社会課題を広く周知し、地域福祉への関心を高めます。

取組み／広報紙「社協だより」の発行や事業ごとのPRチラシ、ミニ広報紙の活用

洛タイ新報への掲載による「月イチうじピョンの〇〇な話」の連載

SNSやホームページによる情報発信

4. 人材育成の取組み

宇治
社協

目 標／社協役職員としての資質向上を図ります。

効率かつ効果的な福祉実践への専門性の強化を図ります。

取組み／役員・職員研修の実施

各種研修会の情報提供と参加調整

5. 宇治福祉まつり検討委員会の開催 宇治 社協

目 標／地域福祉の推進を図る取組みとしての福祉まつりのあり方を検討します。

取組み／宇治福祉まつりの意義や今後のあり方についての継続協議

6. 宇治市総合福祉会館の管理運営 補助 委託

目 標／地域福祉活動の拠点として市民に活用してもらいやすい施設運営を行います。

取組み／宇治市総合福祉会館の管理

老人福祉センターの運営（入浴施設等の利用）

利用者アンケートの実施

赤い
羽根 歳末
募金

7. 宇治市共同募金委員会の運営と赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い募金運動の実施

目 標／共同募金運動の展開を通じて寄附文化の醸成を図ります。

その時々課題に対応した共同募金の活用ができるよう、活動団体等からの情報収集に努めます。

取組み／運営委員会の実施

審査委員会の実施

募金推進会議の実施

赤い羽根共同募金運動、歳末助け合い募金運動の展開

日頃の相談対応でのニーズを元にした共同募金の有効活用の検討